

【1年】題材		時数	指導要領	○学習目標 / ・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	家庭分野のガイダンス	1	A(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校家庭科の学習をふり返るとともに、3学年間の学習内容の見直しをもつ。 ○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 ・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分をふり返る。 ・自立と共生について考える。 ・教科書の目次・見取り図から中学校での学習内容をイメージする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	①今の自分とこれまで	1	A(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりと自分自身の理解を深める。 ・教科書の例を参考に支えてくれた人を思い出す。 			
	②わたしの生活と家族・家庭	1	A(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・中学生のいる世帯の1日の生活時間のデータから、家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき、自分ができることを考える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
	③家庭を支える社会		A(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・小学校での学習を思い出し、家庭の働きと、それを支える活動について考える。 			<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい家庭生活の実現に向けて、家庭生活について工夫し創造し、実践しようとしている。
A1・自分の成長と家族・家庭生活	④中学生にとっての家族	2	A(3)アイ	<ul style="list-style-type: none"> ○家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。 ・ロールプレイングを通して、家族関係をよりよくする方法を考える。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とのかかわりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 	

【1年】題材		時数	指導要領	○学習目標 / ・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 食生活 1 ・ 食事の役割と食習慣	①食事の役割	1	B(1) ア	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。 ・「わたしの興味・関心」で自分の食生活をふり返りながら、食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて、グループで話し合う。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	②健康によい食習慣	1	B(1) ア	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
2 ・ 中学生に必要な栄養を満たす食事	①中学生の発達と必要な栄養	1	B(2) アイ	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し、その理由を考える。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	2	B(2) アイ	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ・五大栄養素の種類について確認する。 ・食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見かたを理解する。	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。		・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	③栄養バランスを目で見て判断	1	B(2) アイ	○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、1回の食事の栄養バランスを判断できる。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。	
3 ・ さまざまな食品とその選択	食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存	1	B(3) アイ	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ・生鮮食品の特徴と表示内容、保存方法を知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②加工食品の選択	1	B(3) アイ	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ・加工食品の特徴と表示内容などを知る。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。		・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	③食品の安全と情報	2	B(3) アイ	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。 ・食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。 ・「生活にいかそう」にとりくみ、自分の考えをまとめる。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	

【1年】題材		時数	指導要領	○学習目標 / ・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ・日常食の調理	①調理の計画	2	B(3) アイ	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・調理に必要な手順や時間を考え、調理計画を工夫する。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
	②おいしさと調理			○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。 ・混合だしをつくるなどの体験を通して、おいしさと調理の関係を理解する。			
	③ますます好きになる肉の調理	2	B(3) アイ	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、肉の調理をする。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
	④こんなにおいしい魚の調理	2	B(3) アイ	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、魚の調理をする。	・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・日常の1食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造しようとしている。
	⑤好きになる野菜の調理	2	B(3) アイ	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・野菜の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて、野菜の調理をする。	・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
5 ・地域の食文化	地域の食文化	3	B(3) アイ	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・地域や季節の食材について調べる。 ・だしを使った和食の実習を通して、郷土料理や行事食のよさについて気づく。 ・「生活にいかそう」で、地域の野菜を使った手打ちうどん（あるいは郷土料理）づくりにとりくむ。 ※生活の課題と実践につなげてよい。	・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【1年】題材		時数	指導要領	○学習目標 / ・学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の課題と実践	生活の課題と実践	4	A(4) B(7)	<p>○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からはほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。</p> <p>○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を振り返り、改善点や課題はないか生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。 ・グループで発表し合い、計画を見直す。 ・各自で実践したことをまとめ、発表する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
6 ・献立づくり	1日分の献立	3	B(2) アイ	<p>○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の「朝食」「昼食」の献立を立て、1日に必要な栄養を満たす「夕食」の献立を考えて、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日分の献立を作成する方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
7 ・持続可能な食生活	持続可能な食生活をめざして	1	B(1) (2)(3) C(2)	<p>○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス、食料自給率など食生活のさまざまな問題を把握し、持続可能な食生活を送るためにできることを考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。